



～「PTA CAFE」のロゴの由来は、2018年度運営委員会に遡ります。活動で集まる時は、美味しいものを持ち寄りほっこりもできる時間にしていて、「なんだかCAFEのようだね」という言葉が出たことによるそうです。2022年度は、地域も学校も「子どもたちのために再開できることを探してみよう」と、新たな展開を迎えているようにも感じます。そのような日々、私がPTA運営委員会の一員となったことで、心がほっこり嬉しかったことを、刀根山小学校のみなさんと共有したいと思います。不定期発行になりますが、これから1年間どうぞよろしくお願いいたします。（刀根山小学校PTA会長 藺部恵子）～



地区委員会

昨年度のうちから、地域の方、関係者、保護者と連携するために本格的に動き出していました。

2018年の北部地震。登校した児童を迎えに行くために、ネットや電話が使えなくなった学校に代わって連携できたのは、登校班内の子どもたちを把握できている親のネットワーク、またLINEつながりがあったからでした。有事の時に近所の子どもとつながれるのは、地区委員会の日頃の活動のお陰だと思います。



生活環境委員会

長い伝統のあるベルマーク運動。刀根山小学校でも、学校の整備に、子どもたちの還元にとベルマークでお買い物をしてきました。PTAがすべての作業をしてきましたが、児童が関わる学校もあります。よくよく調べてみると・・・「児童にとっても勉強になるんじゃない!？」と、学校へ提案し、ベルマークを企業分けする作業を児童でできるようにキットを試作してくれています。すごい改革です!!

文化体育委員会

刀根山小学校は、地域の方たちの「地域も一緒になって子どもたちを育てる!」という強い思いに恵まれた学校だと思います。コロナで2年間自粛していたものも、感染症対策はしっかりした上で、再開の予定です。

トップバッターは、「こども教室」主催の「とねやま子どもカーニバル」(5月21日)。PTAからはゲームのお店を出します。

こうして、お子さまとおうち時間で準備をしてくれています!お二人いい顔!!

嬉しいのは、PTA活動がご家庭の時間の中で「親子の時間」としてくださっていること。そうはいかない活動内容の時もあると思いますが、どうかどうか、保護者のPTA活動が、お子さまにとっても楽しい時間になりますように。お子さまの活躍の場所にもなりますように!と願っています。

広報委員会

『とねやま新聞』のレイアウトを3月のプレ運営委員会では、すでに考えておられ、「こんな写真が欲しくて♥ こんな原稿が欲しくて♥」とベテラン編集者のようです。ありがとうございます♥♥ 発行が楽しみです!!

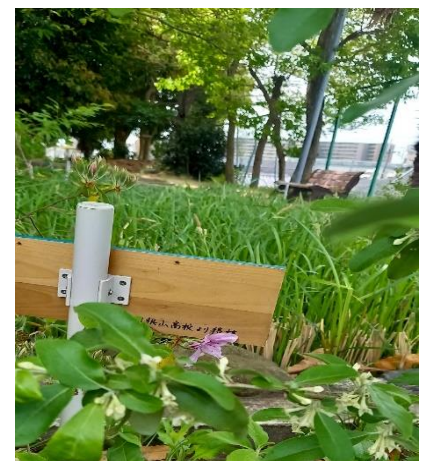
四役

「刀根山小学校の児童とその保護者が、楽しい小学校生活になりますように」と、それぞれの持ち分を務めながら、お互いに力を合わせて

学級委員会

コロナの中でできることは? その他配慮する点など大切な提案をしてくれていて嬉しいです。

刀根山小学校に今のビオトープを作る指揮をとられた真田さん(20年以上前のPTA会長)と温かなご連絡をいただいています。今年も真田さんにご協力いただけると快諾していただ



います。たった1ヶ月しか経っていないのに、深い話をたくさん積み重ねています。 本当にありがとうございます♥ 貴重な時間、体験をさせていただいています。

たようです。 このように、ご縁を大切にしてくるのは、P T Aという「綿々と続く」引き継がれていく性質があるからだと思います。

